## 北海道開発局事業審議委員会(令和7年度第1回) 審議案件一覧【再評価】≪道路事業≫

Г				上段:前回再評価		事業	期間	全体事業費 (億円)					全体事業		残事業					
		事 業 名	再評価理由	下段:今回再評価	事業の概要	事業化年度	完了予定 年度	一体評価	単体評価	進捗率 ※1	事業の効果等	費用便益比 全体 B/C ※2	総費用	総便益	費用便益比 全体 B/C ※2	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針(案)	備考
再		北海道横断自動車道 網走線 足寄~北見	社会情勢等の場合に変更の必要をはいる。 社会情勢等の等の等にの実施の変更の必要をはいる。 が生じた事業		足寄~北見は、十勝圏とオホーツク 間の連携機能の強化を図り、災害に 現い道路ネットラーの構築、安全 性の道路ネットラーター ク形成による地域機をあた活性に、観 光拠点への速速性向上による観光振 興等を目的とした事業。						災害特のリダンダンシー確保 災害時の迂回線失の指揮 4. 相交通常等時のリダンダンシー確保 救免制送の選生性、安定性向上 物元の輸送の率化 用途載光の活性化	一体:1.2 単体:1.02		3 2, 161	一体:2.2 単体:2.8		1, 665	「北海道横断自動車道 網走線 足寄~北 見、事業を「継続」とした「対応方針(原 家)」案について、異編とありません。	FE .	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加 する事業 (d) 寿業の進捗予定 が顕著に進れている事業
				前回 (R3)		H15	R8	2, 453	1, 072	67%		-	1, 853		-	763				
												-			-			当該事業は、高規格選路網の構築による オホーツク圏と道央・十勝・釧路圏の連絡 強化を図り、災害に強い道路ネットワーク 可の構築、安全性や輸送効率の高い物流ネッ		
					同上				1, 210		農水産品の流通利保性向上 教急搬送の連連性・安定性向上 教急搬送の連連性・安定性向上 災害時内緊急輸送ルートの強化 全期時の緊急輸送ルートの強化 在域局連載光の活性化	一体:1.2 単体:0.9			一体:2.1 単体:3.1			トワーク形成による地域産業の活性化、観 光拠点への速速性向上による観光振興等の 支援に寄与することから、早期供用を図 ようお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、	継続 .	
						H15	R13	3, 900		69%		一体: (1.7) 単体: (1.4)	5, 539	6, 815	一体: (3.1) 単体: (4.1)	1, 589	3, 384			
												一体: [2.1] 単体: [1.7]			一体: [3.8] 単体: [4.8]					
再	耳~ 4	(北海道横断自動車道 網走線) 端野高野道路		前回 (R3)	端野高野道路は、十勝圏とオホーツ		R13				災害時のリダンダンシー確保 災害等の迂回原失の解消 多報、通過障害所のリダンダンシー確保 教急患及の逮捕性・安定性向上 物点の輸送効率化 周遊戦光の活性化	一体:1.2 単体:1.5			一体:2.2 単体:1.6	763	1, 665	定総の銀野高野道路 事業を「機構」として、異議 はありません。 通常事業は、現後地温度側の構築による の支援・温度の発力と他が、 を受ける。 では、現代を表現した。 では、また。 では、	· 養 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加 する事業
					ク圏の連携機能の強化を図り、災害 に強い道路ネットワークの構築、安 全性や輸送効率の高い物流ネット ワーク形成による地域産業の活性 化、観光拠点への速速性向上による	H31		2, 453	480	3%		-	1, 853	2, 161	-					
			社会情勢等の 急激な変化等 により再評価		観光振興等を目的とした事業。							-			-					
			の実施の必要が生じた事業		同上						災害時の緊急輸送ルートの強化 最大産品の混進利便性向上 教務部送の連進性・安定性向上 条務部所の心理行の特性性向上 広域高遊観光の活性化	一体:1.2 単体:2.9			一体:2.1 単体:4.0					
				今回 (R7)		H31	R13	3, 900	589	20%		一体: (1.7) 単体: (4.3)	5, 539	6, 815	一体: (3.1) 単体: (5.8)	1, 589 3, 384	3, 384			
												一体: [2.1] 単体: [5.4]			一体: [3.8] 単体: [7.2]					
я	再~5	一般国道39号 (北海道横断自動車道 網走線) 女満別空港網走道路 (在港別空港/網表框上)			女満別空港網走道路(女満別空港~							一体:1.2 単体:1.1			-			「一般国道39号(北海這模断自動車道 網走線)女高別空港〜		
				_	網走呼人)は、十勝圏とオ・ホーツク 師の連携機の途化を図り、実客に 強い道路ネットワークの構築、安全 性や輸送効率の高い物流ネットワー ク形成による地域産業の活性化、観 光態点への速性内上による観光振 興等を目的とした事業。	R6	R22	3, 653	53 570	0% 高次医療施設への速達性・安定性向上 現道課題を回避・解消し、災害時においても	農水産品の物流ルートの速達性・安全性向上 高次医療施設への速達性・安定性向上 現道課題を回避・解消し、災害時においても機能 する信頼性の高い道路ネットワークを確保	-	4, 747 5	5, 746	-	-	-			
			社会情勢等の 急激な変化等								7	-			-			網走呼人)事業」を「継続」とした「対応 方針(原案)」案について、異議はありま せん。 当該事業は、農水産物をはじめとする物 流やオホーツク地域唯一の第3次医療機関		
			により再評価 の実施の必要 が生じた事業	価 要	同上	R6						一体:1.2 単体:1.1			一体:2.1 単体:1.2			がある北見市への教急報送において遷達性 や安全性の向上、また広境道を観光の促 達、さらには異常気象時の選行機能の確保 などに寄与することから、 事の影響を表いいたします。 なお、事変の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、 機能したコスト縮減を図り、効率的、効果	継続	
							R22	3, 900	570	1%	災害時の緊急輸送ルートの強化 屬水産品の洗過得便性向上 核急機力逐進性、安定性向上 冬期都市間バス里行の利便性向上 広域周遊観光の活性化	一体: (1.7)	5, 539	6, 815	一体: (3.1)	1, 589	9 3, 384			
												単体: (1.9)			単体: (1.9)					
												単体:[2.4]			単体:[2.4]					

	再~6	日高自動車道 (一般国道235号) 厚質静内道路	社会は を は は の 等 に の 等 に の 等 に の 変 に の 変 に の 変 に の 変 に の 変 に の を に の を に の を に の を に の を に の を に の を に の を の に の に の に の に の に の の に 。 に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	前回 (R 4)	原貨制内道路は、高速ネットワーク の拡充による近岸部市市の連絡機能 の拡充による近岸部市市の連絡機能 及び国際制金融第二个代象、総化立 港年千歳空港等へが勃定効率化等の 支援を目的とした事業。	Н7	R11	3, 203	873	57%	審産品の流達利便性向上 限度品の流差利便性向上 大産品の流差利便性向上 大産品の混差利便性向上 以書時の気を輸送ルートの強化 教意識送の女定性向上 軽光地への移動機性向上 移住・交流人口の拡大による地方創生	一体:1.2 単体:1.1	4, 410	-体:1.8 単体:3.5	931	1, 678	「日高自助車道 (一般国道235号) 厚質料 内道路) 事事を「継続」とした「対応方針 (原来)」来について、異議はありませ ん。 当該事業は、高速ネットワークの拡充に よる近隔部市間の連結機能の強化を図り、 地域間交流の近性化及び国際起港海宮小	事業	重点審議 (c) 特字事業看价語裏に辨加	
#1				今回 (R7)	阿上	Н7	R14	4, 318	985	73%	高度品の流通利便性向上 開度品の流温利便性向上 開度品の流温利便性向上 気急輸送ルートの強化による迅速な道路容開の支 機 教急搬送の逮連性・安定性向上 移住・交流人口の拡大による地域活性化	一体:1.2 単体:0.9 一体:(1.6) 単体:(1.5) 一体:[1.8] 単体:[2.0]	8, 732	10, 770	一体: 2.1 単体: 5.1 一体: (3.0) 単体: (7.1) 一体: [3.7] 単体: [8.5]	895	1, 871	状態、熱点空港新千震空港等への物流効率 化に寄与するとから、早期保日をお願い いたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環 境への影響を最小膜にことがあるとともに、こ より一帯の極地にしてスト輪換え で以上に効率的・効果的な執行に努め るようお願いいたします。	継続	する事業 (d) 事業の避免予定が顕著に 遅れている事業
	再~7	日高自動車道 (一般國達235号) 静內三石道道36 (静內~東静内)	社会情勢等のの急激なの事業を必要を発展しています。	前回 (R 4)	静内三石道路(静内~東静内)は、 高速ネットワークの拡充による近隣 都市間の流域との強化を図り、地域同交流の活性化及び国際販点港湾 古小牧港、拠点を港新下延が等への物流効率化等の支援を目的とした 事業。	R4	R14	3, 203	520	0%	蓄産品の流達利便性向上 限度品の流差利便性向上 大産品の流差利便性向上 大産品の流差利便性向上 大産品の流差利便性向上 利急機造の安定性向上 製造機の安定性向上 軽性・交流人口の拡大による地方創生	一体:1.2 単体:0.97	4, 410	5, 365	一体:1.8 単体:0.97	931	1, 678	「日高自動車道(一般国道235号)静内三 石道路(時内~東静内)」事業を「継続」 とした「郊内方針(原第)」第二ついて、 環境はありませる。 日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	事業	
H				今回 (R7)	同上	R4	R14	4, 318	520	3%	高意品の京島利使性向上 開産品の京島利使性向上 大会総送ルートの変化による迅速な道路啓開の支 技 税急搬送の速速性、安定性向上 移住・交流人口の拡大による地域活性化	一体: 1.2 単体: 1.1 一体: (1.6) 単体: (1.6) 一体: [1.8] 単体: [2.0]	8, 732	10, 770	一体: 2.1 単体: 1.1 一体: (3.0) 単体: (1.7) 一体: [3.7] 単体: [2.1]	895	1, 871	及び緊急無両の確保、日高・十勝を巡る周 連競光等の振興などに寄与することから、 早期供用をお願いいたします。 なお、事業の実施二生たっては、周辺環 境への影響を最小側にとからくとももが 機能としてスト級を変更が、効果といった。 野の からなれていました。 からなれている。 からなれている。 からなれている。 からなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり	継続	
	再~8	一般團道5号 創成川通	社会情勢等の 急激な変化等	前回 (R 5)	創成川通は、札幌都心部と札特自勁 車道の区間を地下トンネルで輸送。 とによって、札幌都心部と高速道路 のアクセス強化を図り、時間信頼 の同点と略形のへ物流変通の安全 性同点とあるとしたよる了条便1丁 目から大道駅 丁目に至る延長4. 8 kmの事業業。	レで結ぶこ と高速道路 ・高速道路 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 高速道路 ・ ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で り で り で り で り で り	R12	1, 370	1, 200	2%	村機能の前と高速速路のアクセス強化 通路交通の変全性向上 高速を通り速度の上 高大医療機能を向上 沿線における交通環境の向上 冬期におけるバス利便性向上	#解析の動と高速温度のアクセス強化 温度交通の受金性的上	「一般国道5号 割成川通」は、本市の 骨格道路解を形成する要姿路線のひとつと して位置づけられており、札幌からと北海 道全域が繋がる広域的な遊路ネットワーウ の強化に乗うたととはに、市民生活の向上 や経済・北会活動の流性に等今すること から、当時来最少(対応方針)に はこざいません。	事業	重点審議 (c) 推定事業費が顕新に増加					
H			により再評価 の実施の必要 が生じた事業	今回 (R7)	同上	R3	R16	1, 979	1, 809	5%	村橋都心部と高速道路のアクセス強化 道路交通の安全性向上 物法交通の改建性向上 高次医療機関へ必達性向上 沿線における交通環境の向上 失期における交通環境の向上 失期におけるバス利使性向上	一体:1.2 単体:1.04 一体:(1.7) 単体:(1.6) 一体:[2.1] 単体:[2.0]	1, 736	2, 025	一体: 1.2 単体: 1.2 一体: (1.8) 単体: (1.8) 一体: [2.3] 単体: [2.3]	1, 235	1, 450	江回路の連用や発生土の管理。 騒音対域等 を行い市原生活の影響を最初に刻る とともに、新技術の活用や磁果業事例を参 なと、より、新技術の活用や磁果業事例を 回り、近れまで以上に効果があり、効果がない のでは、対象では、対象が で、段階からは用きなかた整形表のの解 乗規、及び、計画的なまちづくりを促進す を対し、をないをなった。 なための開発で中昇公表など、特段の ご配慮をお願いいたします。	継続	する事業 (d) 事業の選携予定が顕著に 遅れている事業

※1 進掺率は、それぞれの全体事業費(単体評価)に対する進捗率を示す
※2 1段目 社会的割引率を4%に設定して算定したB/Cの参考値 (2段目) " を2%に設定して算定したB/Cの参考値 (3段目) " を1%に設定して算定したB/Cの参考値

◆重点審議案件の選定要件 (a) 事業計画が顕著に変更された事業 (b) 推定便益が顕著に減少する事業 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業 (d) 事業の進歩予定が顕著に遅れている事業 (e) その他の要因